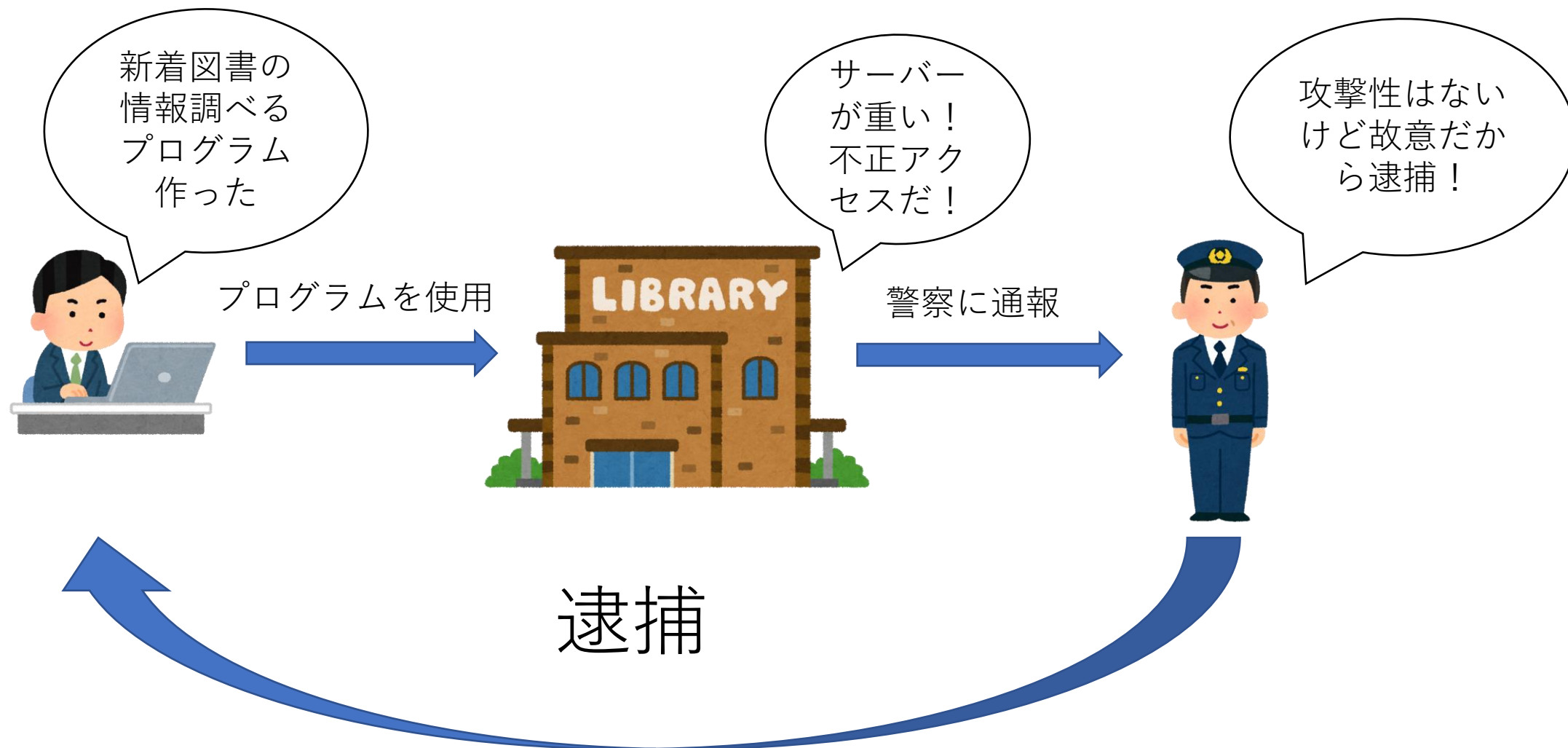


# 岡崎市中央図書館事件の概要



# 事件のポイント

- ・ プログラムについて

1 秒に 1 回サイトにアクセスし、  
情報を調べる。このプログラムは  
一般的なサーバーにたいして  
攻撃性は低い。

プログラマーである男性は常識的  
に害のないプログラムを作った。

- ・ 警察、検察の見解

攻撃性は認められなかったが、  
大量にリクエストを送ったこと  
から故意だと判断し逮捕・起訴  
猶予とした。実際は図書館のサー  
バーの管理業者のミスでサーバーが  
脆弱になっていた。

# この事件からわかること

- ・ 警察側がサイバーに対して弱い。
- ・ 図書館が完全にサーバー関連のことを業者に委託していたので通報することしかできなかった。
- ・ 攻撃性はなかったのに逮捕されるのはおかしい。また、専門家の意見もあまり取り入れられなかった。